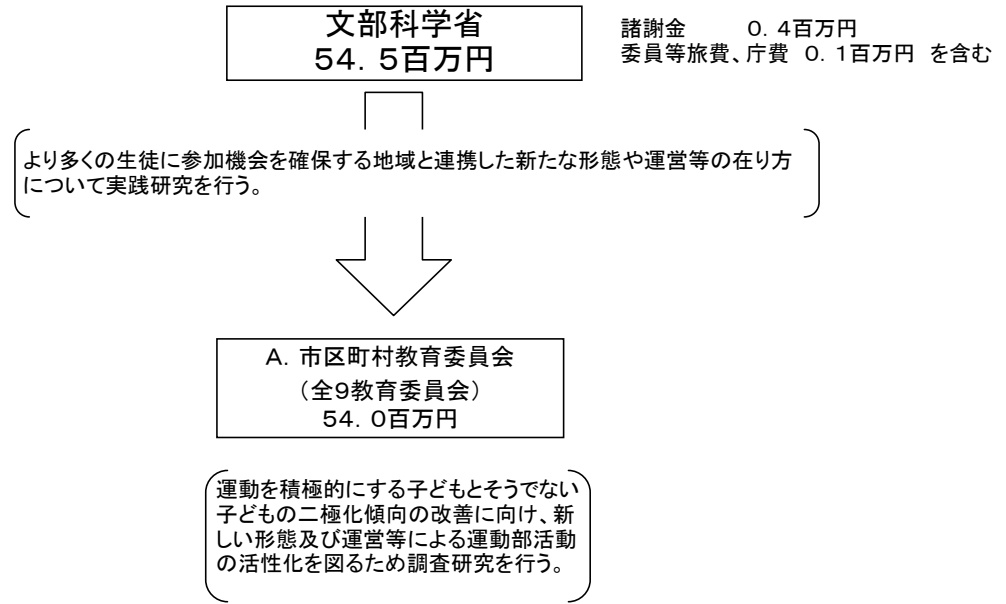


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	運動部活動地域連携再構築事業	担当部局庁	スポーツ・青少年局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	参事官(体育・青少年スポーツ担当)	参事官	長登 健			
会計区分	一般会計	施策名	X II -1 子どもの体力の向上					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定) スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中学校・高等学校における指導者不足や、競技志向の部活動にはスポーツがあまり得意でない生徒が気軽に参加することができないなどの部活動をとりまく課題を解決し、より多くの生徒に運動機会を確保することにより、子どもの体力低下や運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向を改善する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	外部の有識者及び関係団体・地域のスポーツ指導者・保護者の代表等からなる「地域実践研究協議会」を設置し、運動を積極的にする子どもとそうでない子どもの二極化傾向の改善に向け、新しい形態及び運営等による運動部活動の活性化を図るため調査研究を行う。 【委託先:市区町村等教育委員会】							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算				54.5	52.4	
		補正予算						
		繰越し等						
		計				54.5	52.4	
		執行額						
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (32年度)
	中学生の運動部活動への参加率	成果実績	%		—	—	—	70.0
		達成度	%		—	—	—	
	高校生の運動部活動への参加率	成果実績	%		—	—	—	45.0
達成度		%		—	—	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	新しい形態及び運営等による運動部活動の活性化 実施市区町村数		活動実績 (当初見込み)	箇所	-	-	-	-
	6.0百万円(円/委託先数)		算出根拠	単位当たりのコスト=平成24年度委託費予算額 54.0百万円/委託先数 9校				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4百万円	0.3百万円	平成24年度より「地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業」を統合しているが、平成24年度予算額、平成25年度概算要求額には統合した額以外の額を載せている。				
	委員等旅費、庁費、職員旅費	0.1百万円	0.2百万円					
	スポーツ振興事業委託費	54百万円	51.9百万円					
計	54.5百万円	52.4百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	スポーツ基本計画では、生徒のスポーツに関する多様なニーズに応えた中学校及び高等学校の運動部活動の充実を推進し、生徒の運動部活動への参加機会を充実させ、複数校による合同実施やシーズン制等による複数種目実施等、先導的な取組を支援し、特に男子と比較して加入率が低い女子の運動部活動への参加機会の向上を図ると明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。そこで、国は、運動部活動の充実のための多様なニーズに応える柔軟な運営等を行う先導的な取組を全国に普及啓発し、一層の運動部活動の活性化の推進を図る必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の認定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で、公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているところ。なお、委託契約の締結に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックしている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	文部科学省では、スポーツ基本法の規定に基づき、中央教育審議会において、行政課題を検討し、関係団体の声にも傾け、「スポーツ基本計画」を策定した。本事業は、同計画において、学校の体育に関する活動の充実における今後の具体的施策展開として位置付けられた「運動部活動活性化のための取組」を支援する施策として、平成24年度から中学校等での運動部活動の充実を図ることとしており、利害関係者の要望にとどまらず、広く国民のニーズに応えるものである。
	—		
予算監視・効率化チームの所見			
			本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから適切な事業と認められる。
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
○教育振興基本計画について: http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/ ○スポーツ基本計画について: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新24-0042

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.市区町村教育委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	6.0百万円×9教育委員会	54.0			
計		54.0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0